

—2016年を振り返ると。

ゼリー飲料のOEM(相手先ブランドによる生産)が好調で、年間を通してフル稼働を続けてきました。洞戸工場に加え、近年ゼリー飲料はあまり作っていなかった薬師工場でも急ぎよ増産に対応しました。さらに乳幼児向けゼリー飲料の新製品も好調で、OEMは約30%の増産。生産現場は人手確保に大変苦慮しましたが、社員が一丸となり「全社員総活躍」で乗り切ることができました。

—今年の業界の展望と抱負は。

も、業界としても本格的に取り組むスタートの年と位置付けていきたい。

—特に力を入れる研究は。

中長期的な方向として、特に蜂産品の研究に力を入れます。ミツバチの生

復活に取り組む

産物には蜂蜜、ローヤルゼリー、ミツロウ、プロポリス、蜜蜂花粉、蜂の針があります。蜂蜜、ローヤルゼリーは、当社ですでに医薬品として製品を製造しており、引き続き普及に注力してい



株式会社 秋田屋本店



代表取締役社長 中村 正氏

国産蜂蜜の需要が高く、ミツバチも国産の蜂蜜も不足しており、注文に応じきれない傾向が続きそうですが、需要に対応できる体制を築いていきたい。今年注力したいのは、岐阜県の花

レンゲ蜂蜜の復

でもあるレンゲソウの蜂蜜の復活です。輸入したレンゲの種をまいても蜜があまり採れない傾向があり、岐阜県にもともとあった在来のレンゲの種子を探して、復活させたい。当社として

きます。ミツロウも医薬品になっていきますので、残るプロポリス、蜂の針、蜜蜂花粉はさらに重点的に研究を進め、医薬品化を志向していきたい。

—どのように進めていきますか。

選択と集中により、蜜蜂の生産物に特化して深掘りしていきたい。大学の医学部や薬学部との連携も必要となると思います。ただ、生きた蜂、生産物を使うフィールドを持っていきますので、実験室ばかりでなく、現場主義で取り組みたい。蜂産品に関してオンラインワンを目指します。



概要

〒500-8471 岐阜市加納富士町1丁目1番地
TEL.058-272-1221

創業 1804年 養蜂部創設/1887年
設立 1961年11月28日
資本金 5,000万円
従業員数 300人
事業内容 ミツバチ産品・養蜂資材の製造・販売、医薬品・食品製造業
事業所 城南事業所(養蜂部)
営業所 東京営業所
工場 洞戸工場、薬師工場、本巣屋井工場、本社工場
養蜂場 伊自良養蜂場
関連会社 日本養蜂株式会社、ハネックス株式会社

オンラインショップ <http://akipure.com>

<http://www.akitayahonten.co.jp>